

令和3年度 下和泉地域ケアプラザPDCAシート_公表用（事業計画書、事業報告書、事業実績評価）

— 総括表 —

◆ 事業計画 一人ひとりの困りごとや地域の課題を受け止め、『みんなで解決するまちづくり』を目指します！

地域の現状と今後の方向性

- ・下和泉地区
【地域特性】バス通りの歩道の少なさや交通の便の悪さに加え、感染症の影響で外出しづらさが増している。
【方向性】『移動に関する支援』が必要！
- ・富士見が丘地区
【地域特性】約50年前に造成されたエリアの住民が一斉に高齢化する見込みで、個別相談が増加している。
【方向性】『普段の暮らしを支える支援』が必要！

今年度の重点的な取組

新規	継続	—具体的な取組内容—
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	相談傾向分析結果や最新のツールを活用して、個別・地域課題の解決に取り組みます ・相談傾向を分析・共有し、地域活動者が地域課題として受け止め、活動につながるよう提案します。 ・各種制度の普及啓発や消費者被害の注意喚起には、オンライン等の情報提供手法を活用します。
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	地域情報を収集、かつ効果的に発信して、個別・地域課題の解決に取り組みます ・最新の地域情報収集と更新に努め、その結果をオンラインを活用してタイムリーに情報提供します。 ・ぽかぽかマップの周知と更新を支援し、ときめきポイントのオンライン発信と共有も検討します。
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	さまざまな領域と協働して新たな人材を獲得して、個別・地域課題の解決に取り組みます ・学齢期の子どもやその親を支援する団体と協働して、定期的な相談の場を設けます。 ・地区センターや区役所と共催で、活動者支援と担い手発掘を目的とした講座を開催します。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	地域活動者と専門職との関係性を構築して、個別・地域課題の解決に取り組みます ・ケアマネジャーと民生委員とで地域資源や個別ケースの情報共有を図り、関係性を構築します。 ・地域ケア会議等に医療職を招き、地域活動者等に医療分野に関する知識啓発の機会を設けます。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	職員の資質向上と連携の促進を図り、個別・地域課題の解決に取り組みます ・目標管理による人事考課を実施し、オンライン形式等、各種研修への参加も促進します。 ・部門内、また部門間会議や、他部門理解を目的とした勉強会を実施し、連携促進を図ります。

◆ 事業報告・事業実績評価

振り返り

- ★風通しのよい職場風土を醸成しながら、個別・地域課題の解決を図り、特に下記について成果があがっている。
- ①総合相談の傾向等を民生委員のみならず地域の各種会議で共有し、必要な取組について具体的に検討できた。Twitter等を利用し、救急あんしんセンター事業の周知や詐欺被害等の注意喚起もできている。
 - ②オンライン講座等による発信に取り組み、情報を主にネットから得る層へのアプローチを強化した。ぽかぽかマップの活用方法等を作成メンバーと協議できたため、今後、企業等との関係性構築のツールとしても用いたい。
 - ③学齢期対象の居場所を定期開催し、支援団体・自治会・行政機関と連携しながら情報交換の場を設けた。地区センターとののはじめてのボランティア向け講座共催や、協力し合いながらの行事開催も達成できた。
 - ④民生委員とケアマネジャーとの交流会では、現状の聴き取りやニーズ把握等を行い、連携構築のための環境を整えた。相談件数が増加したエリアで地域ケア会議を開催し、地域課題と今後の取組の方向性を共有できた。
 - ⑤オンライン研修等の整備や会議のオンライン化により、必要な研修・会議に各職員が積極的に参加できた。定期的な面談等を介して職場運営の基盤を整えた結果、日常的な業務での職員間の連携向上等も図れている。

区からのコメント

・職種間、部門間の積極的な連携による高いチーム力をベースに、オンライン講座や学齢期対象の居場所の定期開催など新たな取組とともに、ぽかぽかマップを活用した様々な事業を効果的に進めています。先駆的な取組を区域に情報発信することで区全体の取組の活性化につながることを期待しています。
・昨年度作成した「ぽかぽかマップ」の活用について作成メンバーを中心に協議しウォーキングを実施するなど、コロナ禍でもできることを着実に進めることができました。泉区アクションプランにも掲載した素敵な活動ですので、今後は企業等との関係構築も含めさらなる発展を期待しています。その他多くの事業を創意工夫し展開しており次年度の取組も楽しみにしています。
・認知症支援事業においては、地域のキャラバン・メイトの意識づけや、地域の劇団とのタイアップなど、独自性を発揮しながら地域ニーズに沿って対応ができました。また、オンライン研修など新たな取組を意欲的に実施し、課題を模索する様子が確認できました。介護者のつどいでは、参加者にとって心地よい場となるような工夫した運営ができていました。今後も、事例を1つずつ積み重ねながら、地域性に応じた効果的な取組が継続されることを期待しています。